

島原・雲仙 学生駅伝の 復活を

市長／三市の方向で進めばやぶさかではない



松永忠次 議員

島原・雲仙学生駅伝の復活を

議員 本市において、平成30年度世界遺産登録に向け全国に発信する絶好のチャンスではないか。

市長 当時、大会運営にあたり、コースの安全確保やボランティアの交通整理や多額の大会運営費などの負担が大きい割には経済的なメリットが見込めない為、平成20年に本市と雲仙市が大会運営から撤退した経緯があり、学生駅伝大会に加わることは難しい。

議員 今回、特に本市において世界遺産登録に対し、又、世界ジオパーク等のPRには立派な収益があるのではないかと。

市長 経済的なメリットが見込めないことから今日に至っている。

議員 もし、島原市、雲仙市の市長がもう一遍、開催のお話があった場合、そのテーブルにつくのか。

市長 島原半島が一丸となって出来るのであれば、そういう方向で進むことはやぶさかではないと思う。

かどうか。

市長 夜間の消防団員の皆さん方の安全を守る為に、装備品に安全対策を図ることは大変大事なことです。今後検討していきたい。

議員 団員の加入の仕方

総務部長 全国の消防団募集のチラシについては、南島原市の女性消防団員がモデルになって、呼びかけている。自治会長さんにもお願いしている。

議員 我が町、我が地域を団員が見守り、防災を啓発していただきたい。

防災について

議員 消防団の服やヘルメットに反射板を付けて



消防団員入団促進ポスター《全国版》

加津佐地区 に中継局を

市長／建てたほうがいいと考えている



中村久幸 議員

戸別受信機の整備・運用について

議員 南有馬町の上原に中継局を建てるといふことで行われた電波発信テストの結果がどうだったのか、市内全域をカバーできるのか。

市長 大体エリア的にはカバーできる予定だったが、加津佐町の一部、津波見・水月あたりについて、入りが悪いことが分かったという報告を受けている。

議員 電波が弱くて入らない所の対策は。

市長 それぞれの家庭に、屋外や屋内にアンテナを付けることで、当初予定をしていたが、加津佐地区に、一つ中継局を建てたら電波が強くなって、どこでも入りやすくなるという提案があり、今の段階では、建てたほうがいいだろうと考えている。

議員 屋内外のアンテナでは部屋の中を持ち歩きできないような状況になるので、平等性に欠けると思う。ぜひ中継局をも

う一本建てるほうで進めたい。

今後の放送開始や市民への情報発信のための放送の時間帯、内容は。

市長 運用開始は、当初の予定どおり、4月1日を予定している。今、夜に流している行政情報も今後やる予定だ。

戸別受信機では、まだ今から詰めなければいけないが、朝7時ごろと12時台、夜7時台の1日3回の放送をということ、今調整している。

学校給食センター建設の進捗状況と今後の計画について

議員 建物と道路の工事を並行して行うと言われていたが。

教育長 平成29、30年度で、基本実施設計に着手し、平成32年9月に供用開始の計画で進めている。なお、旧龍石小学校の校舎及び体育館の解体の実施設計及び解体工事の予算も、当初予算で計上している。

道路については建設部と一緒に協賛しながら、土地所有者との最終的な点検と、確認等を、今現在進めている。



旧龍石小学校